

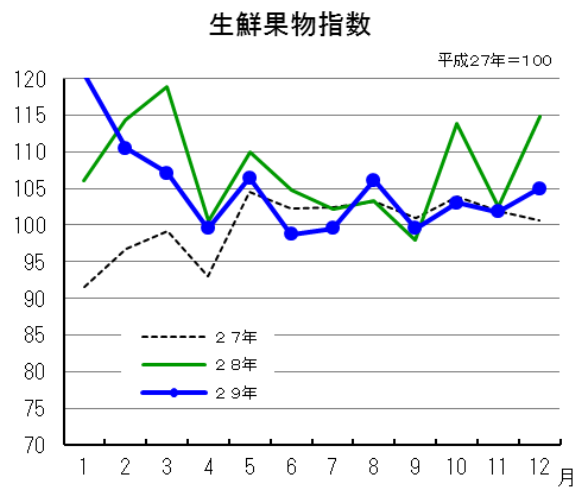
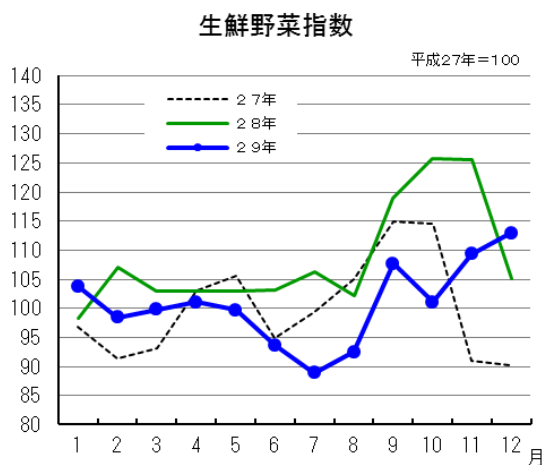
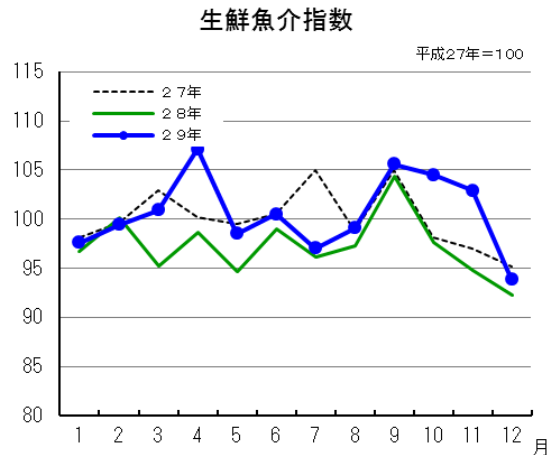
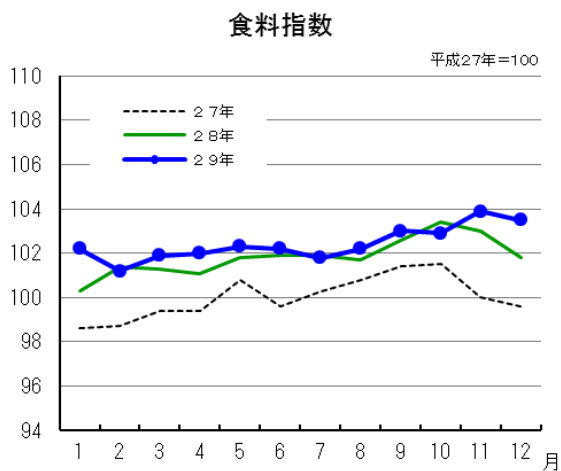
4 費目別指数の動き

(1) 食料

年平均指数は102.4となり、前年に比べ0.6%の上昇となった。

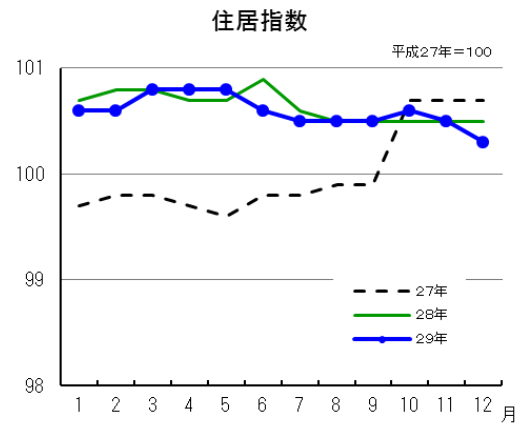
生鮮食品についてみると、生鮮魚介が3.5%の上昇、生鮮野菜が7.1%の下落、生鮮果物が2.5%の下落となり、生鮮食品全体では2.9%の下落となった。

生鮮食品以外の内訳をみると、穀類は2.1%の上昇、魚介類は3.3%の上昇、肉類は2.5%の上昇、乳卵類は2.5%の下落、野菜・海藻は4.2%の下落、果物は2.3%の下落、油脂・調味料は0.3%の上昇、菓子類は3.3%の上昇、調理食品は0.1%の下落、飲料は0.5%の下落、酒類は0.4%の上昇、外食は1.3%の上昇となった。



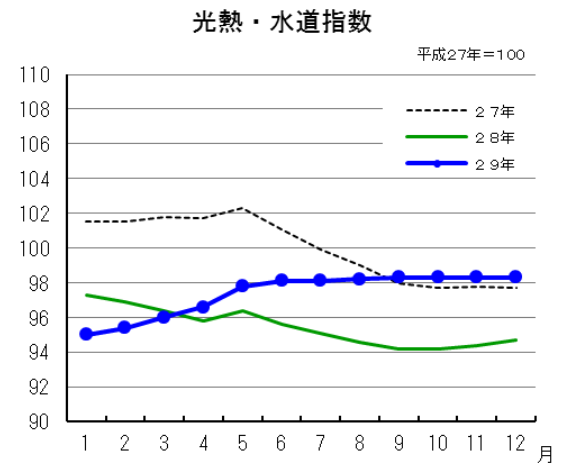
(2) 住居

年平均指数は100.6となり、前年と同水準となった。内訳をみると、家賃は0.2%の下落、設備修繕・維持は0.9%の上昇となった。



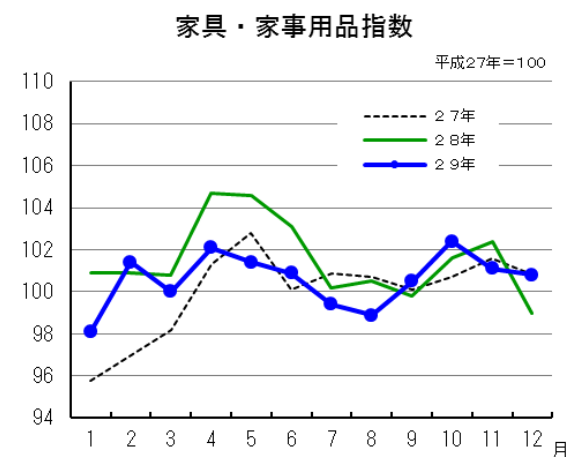
(3) 光熱・水道

年平均指数は97.4となり、前年に比べ2.0%の上昇となった。内訳をみると、電気代は3.6%の上昇、ガス代は0.1%の下落、他の光熱は17.1%の上昇、上下水道料は前年と同水準となった。



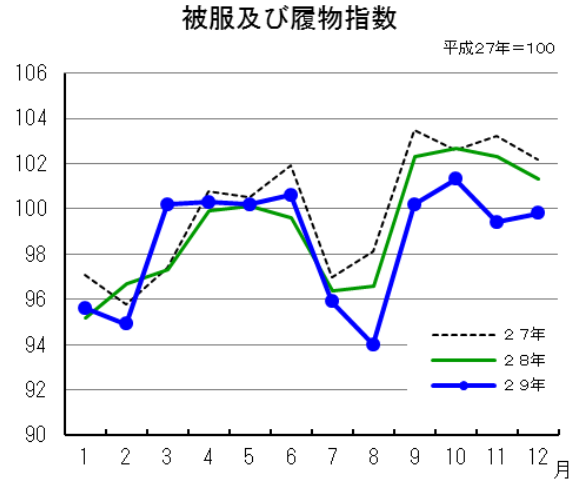
(4) 家具・家事用品

年平均指数は100.6となり、前年に比べ0.9%の下落となった。内訳をみると、家庭用耐久財は4.2%の下落、室内装備品は2.9%の上昇、寝具類は2.1%の下落、家事雑貨は4.0%の上昇、家事用消耗品は2.8%の下落、家事サービスは3.4%の上昇となった。



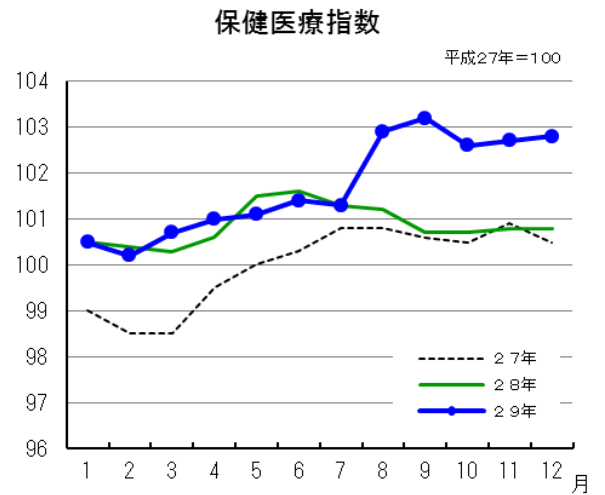
(5) 被服及び履物

年平均指数は98.5となり、前年に比べ0.7%の下落となった。内訳をみると、衣料は1.3%の下落、シャツ・セーター・下着類は1.7%の上昇、履物類は5.2%の下落、他の被服類は0.5%の上昇、被服関連サービスは0.6%の上昇となった。



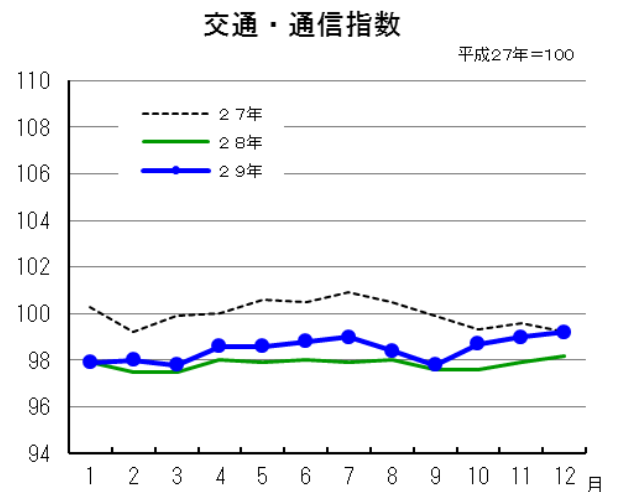
(6) 保健医療

年平均指数は101.7となり、前年に比べ0.8%の上昇となった。内訳をみると、医薬品・健康保持用摂取品は0.1%の上昇、保健医療用品・器具は0.6%の下落、保健医療サービスは1.7%の上昇となった。



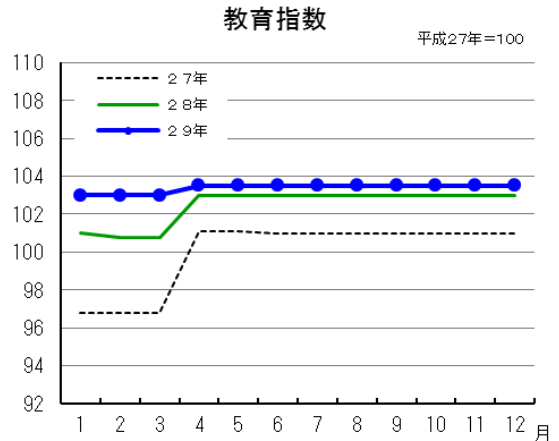
(7) 交通・通信

年平均指数は98.5となり、前年に比べ0.7%の上昇となった。内訳をみると、交通は0.1%の下落、自動車等関係費は3.1%の上昇、通信は4.0%の下落となった。



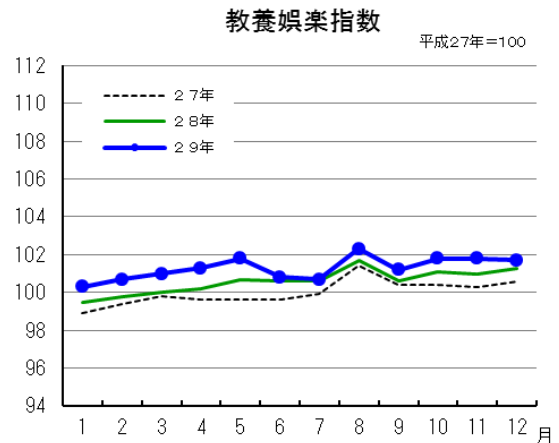
(8) 教育

年平均指数は103.4となり、前年に比べ0.9%の上昇となった。内訳をみると、授業料等は1.4%の上昇、教科書・学習参考教材は0.5%の上昇、補習教育は0.8%の下落となった。



(9) 教養娯楽

年平均指数は101.3となり、前年に比べ0.7%の上昇となった。内訳をみると、教養娯楽用耐久財は1.5%の下落、教養娯楽用品は前年と同水準、書籍・他の印刷物は0.4%の上昇、教養娯楽サービスは1.1%の上昇となった。



(10) 諸雑費

年平均指数は101.0となり、前年に比べ0.4%の上昇となった。内訳をみると、理美容サービスは前年と同水準、理美容用品は0.6%の下落、身の回り用品は1.3%の上昇、たばこは1.0%の上昇、他の諸雑費は0.8%の上昇となった。

